

1. 東部沿岸

1-1. 岩美海岸（陸上地区）

1-1-1. 概要



写真 1-1、写真 1-2 に岩美海岸（陸上地区）の空中写真および現地写真を示す。

- 陸上地区は、羽尾海水浴場、東浜海水浴場から成り、東浜海水浴場の西側には潜り突堤が整備されている。
- 平成 29 年度にサンドパック工法が試験施工されている。（写真②）

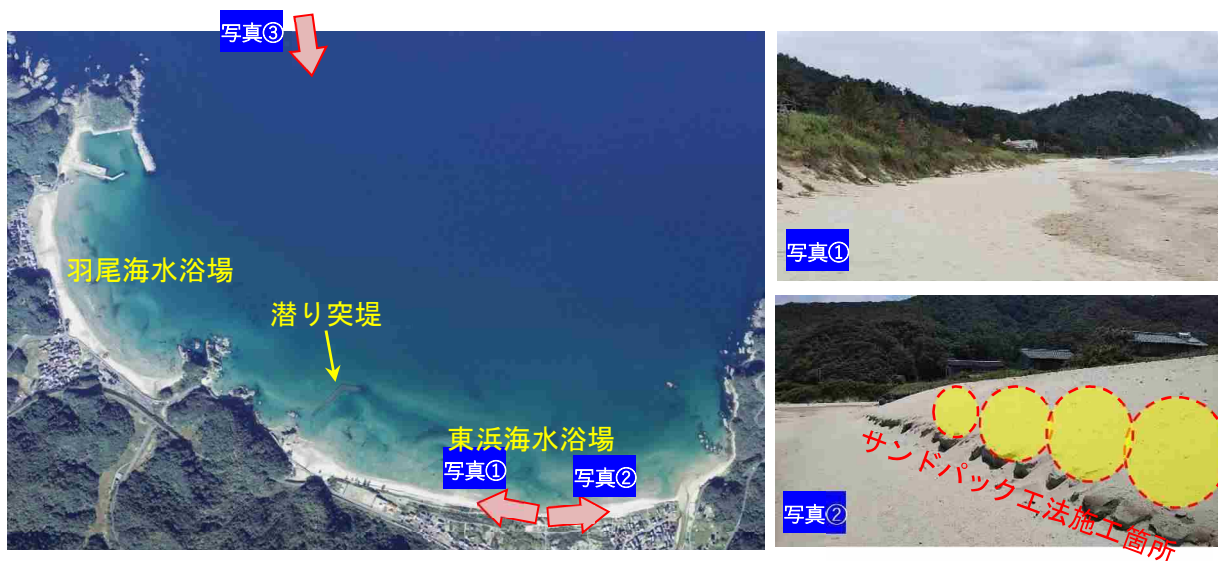


写真 1-1 岩美海岸（陸上地区）の航空写真（2018 年撮影）と現地写真



写真 1-2 岩美海岸（陸上地区）の斜め写真（2019 年 5 月撮影）

1-1-2. 土砂投入量実績

図 1-1 に、岩美海岸（陸上地区）における土砂投入状況を示す。

- 岩美海岸（陸上地区）では、海岸の東西端で土砂を採取して、潜り突堤の東側に土砂が投入されている。

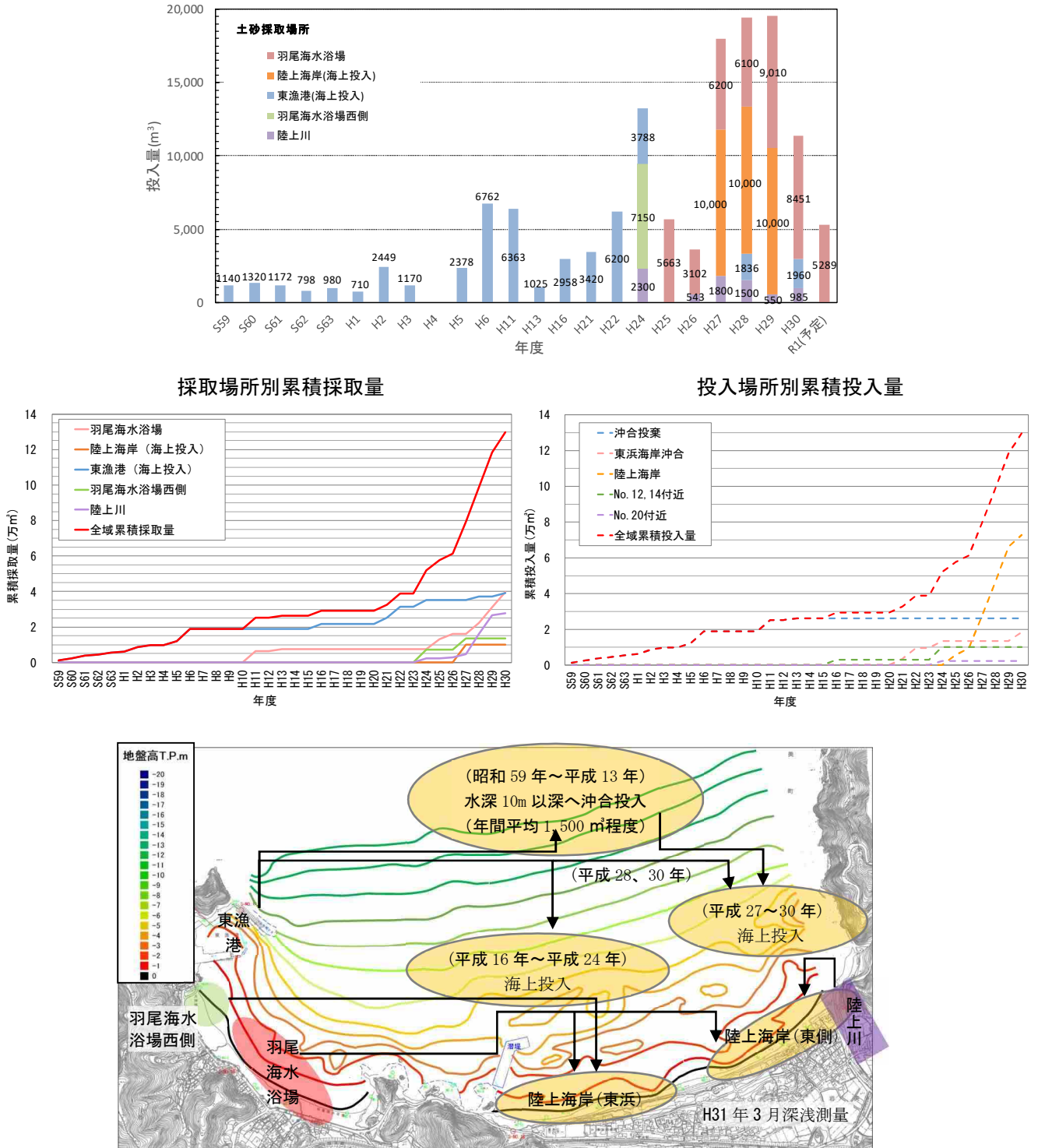


図 1-1 岩美海岸（陸上地区）における土砂投入状況

1-1-3. サンドリサイクル効果分析

(1) 水深分布

図 1-2 に、直近 3 回分の水深図と測量期間毎の水深差分図を示す。

- 2018 年 9 月～2019 年 3 月の期間に土砂投入した地点は、2018 年 3 月～2018 年 9 月の期間では沖から岸に土砂が移動する傾向を示すことから、この地点で沖に土砂を投入すれば、海岸線の前進に寄与することを示唆している。
- 潜り突堤の先端から東側に水深 4m の等深線に沿って地形変化が生じている。この地形変化は、潜り突堤により海域の流れが乱されたことにより生じたものと思われる。

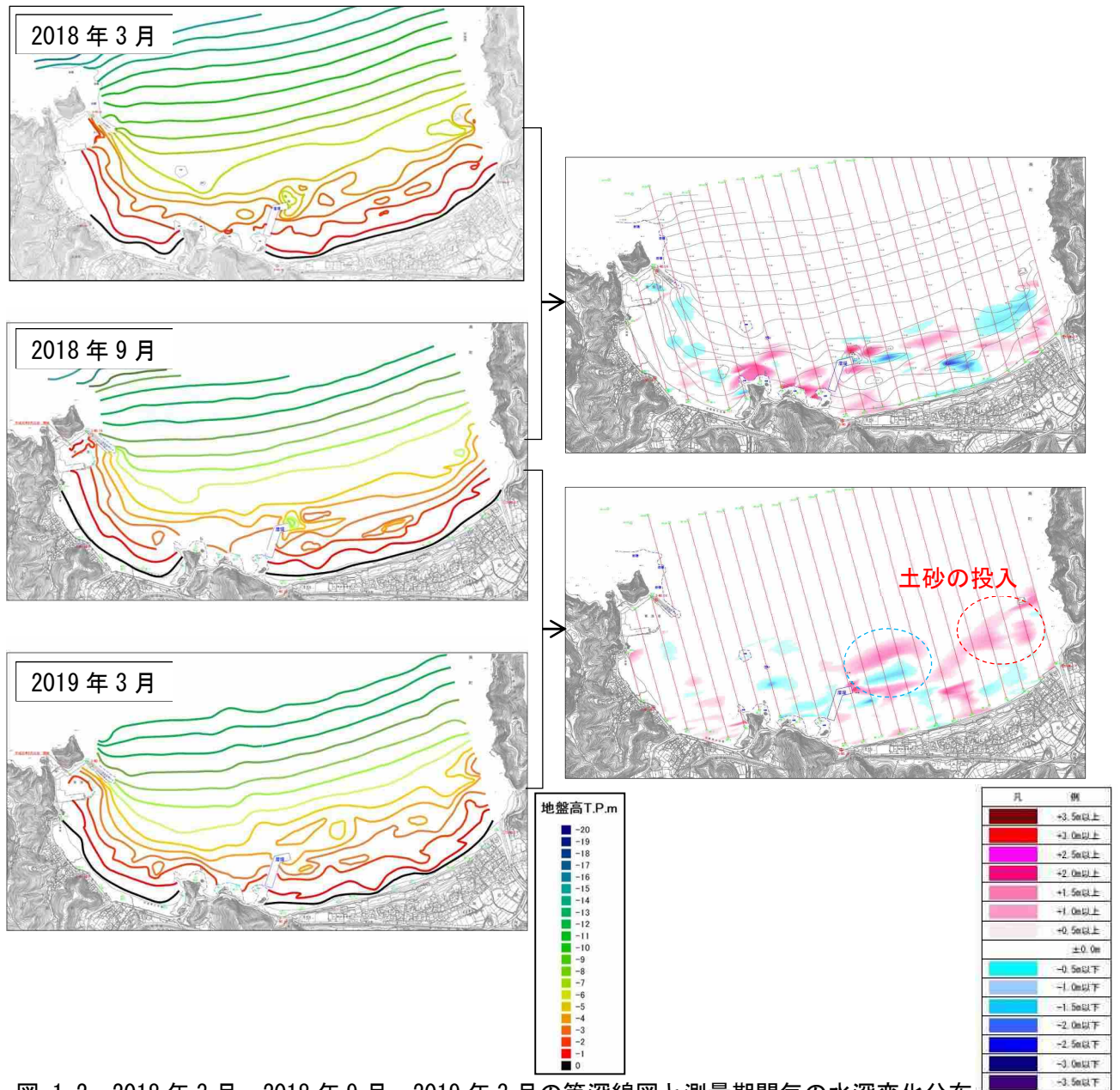


図 1-2 2018 年 3 月、2018 年 9 月、2019 年 3 月の等深線図と測量期間毎の水深変化分布

(2) 汀線変化分析

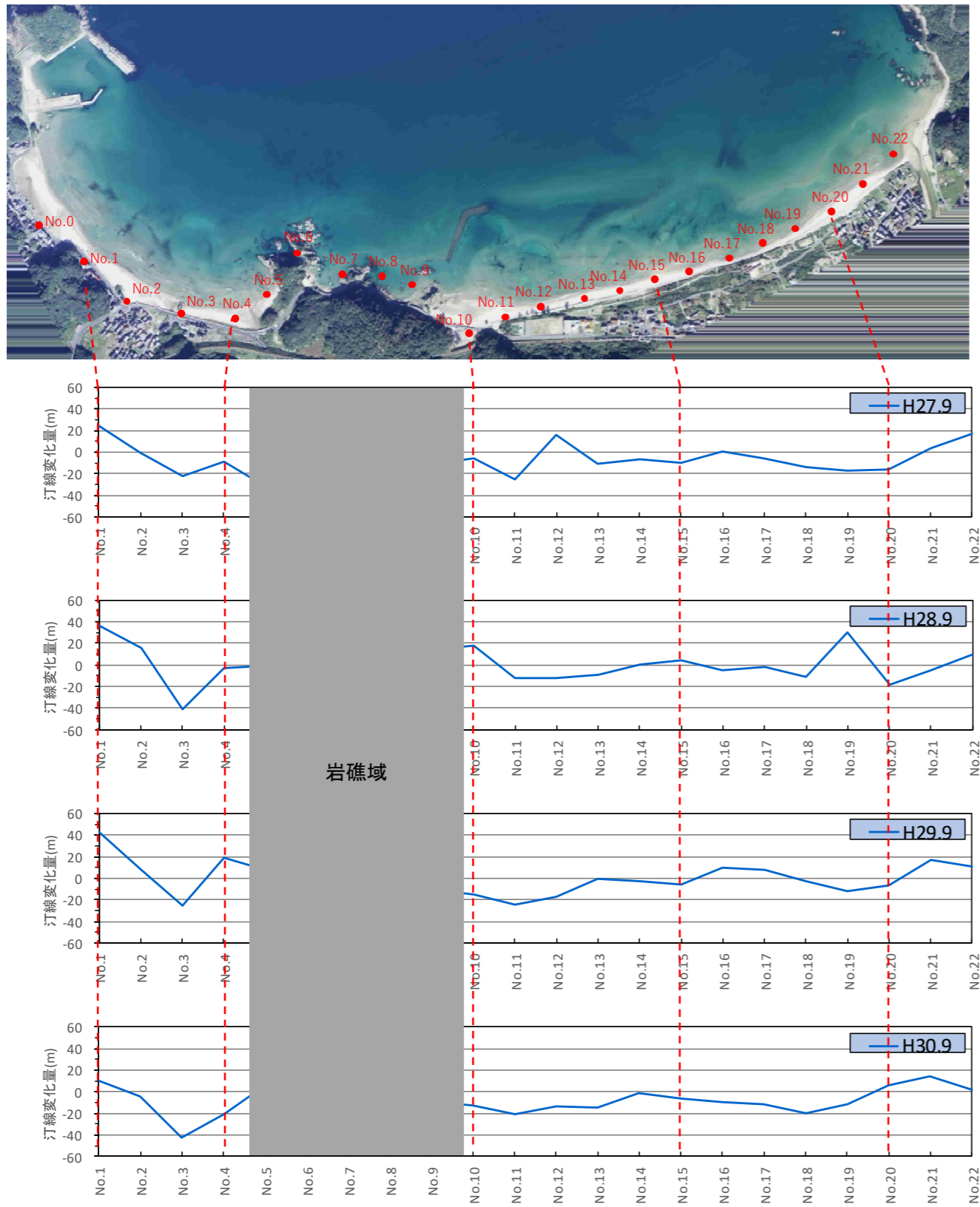


図 1-3 岩美海岸（陸上地区）の近年の汀線変化図（平成 18 年 9 月基準）

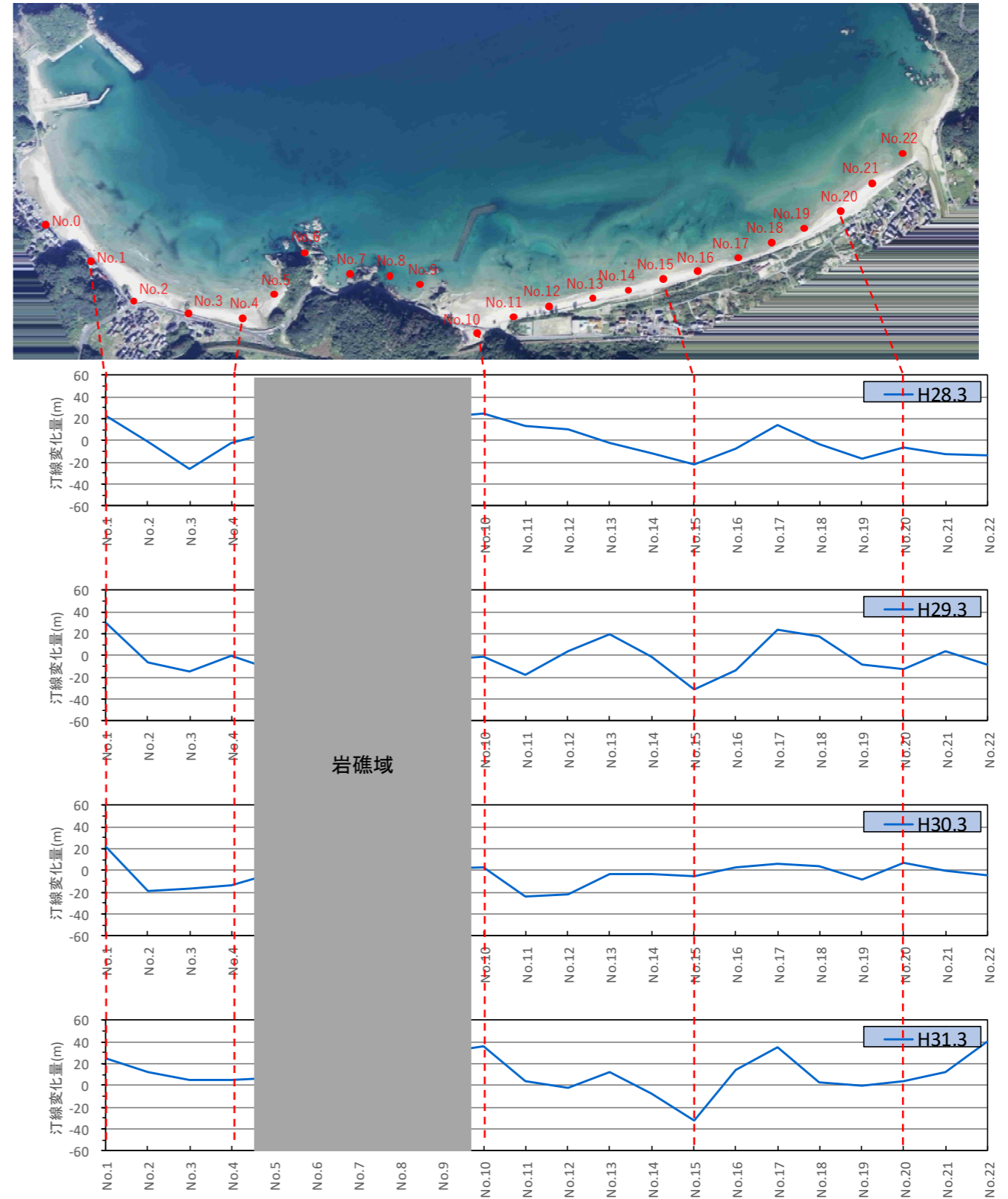


図 1-4 岩美海岸（陸上地区）の近年の汀線変化図（平成 20 年 3 月基準）

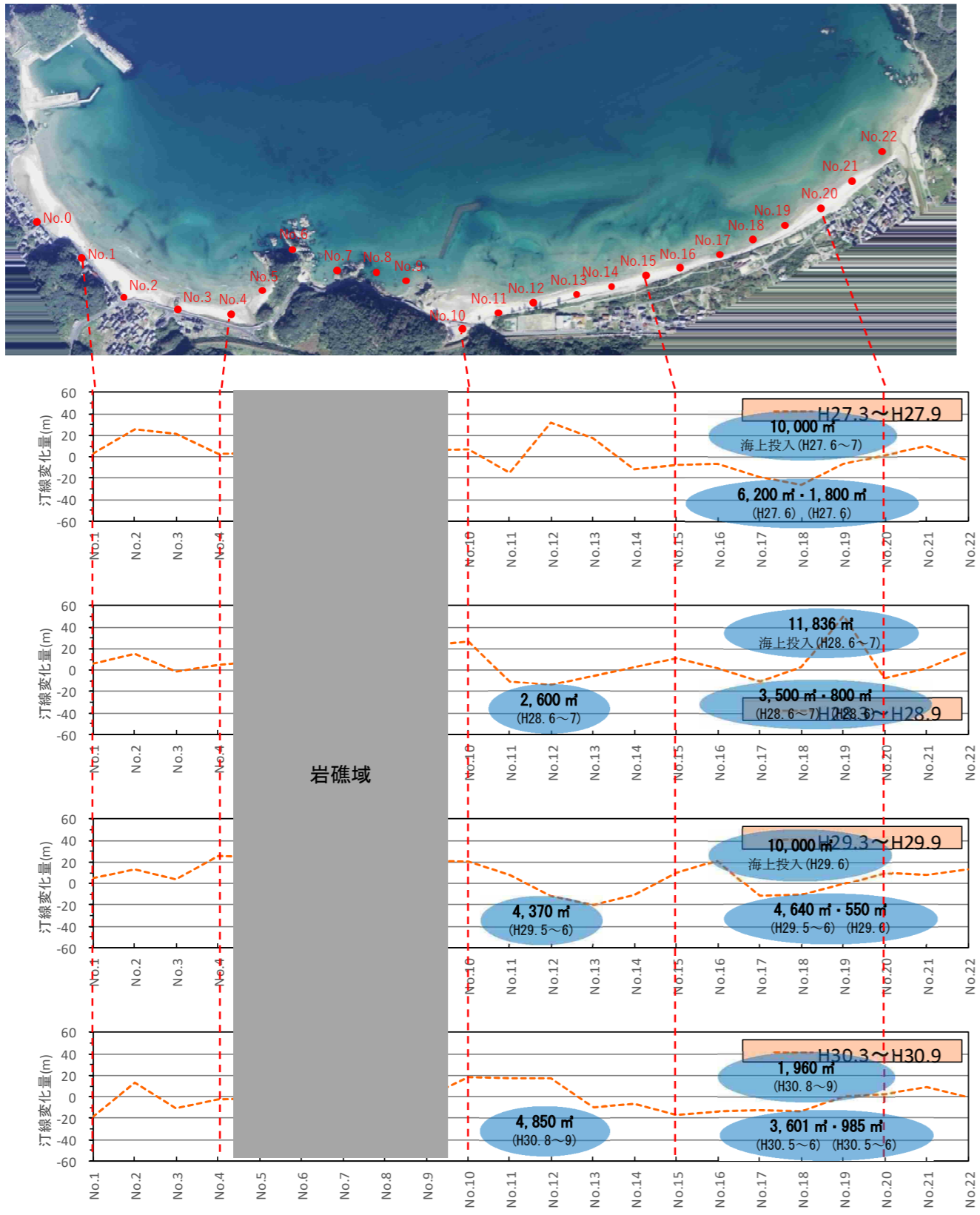


図 1-5 岩美海岸（陸上地区）の近年の汀線変化図（春から秋の変化量：1年毎）

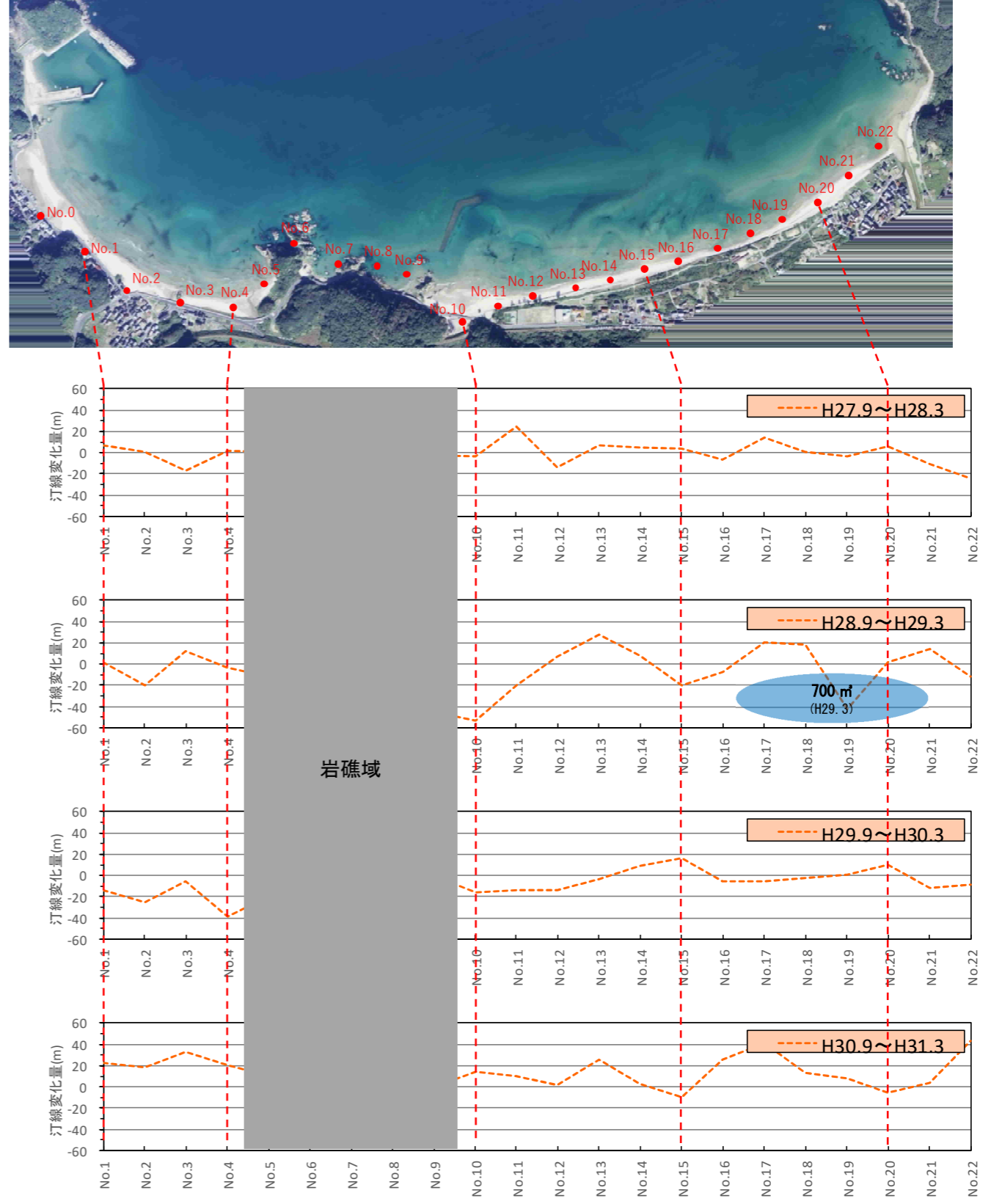


図 1-6 岩美海岸（陸上地区）の近年の汀線変化図（秋から春の変化量：1年毎）

(3) 浜幅分析

各海岸の浜幅は、図 1-7 に示す浜幅基準の考え方にに基づき分析を行った。

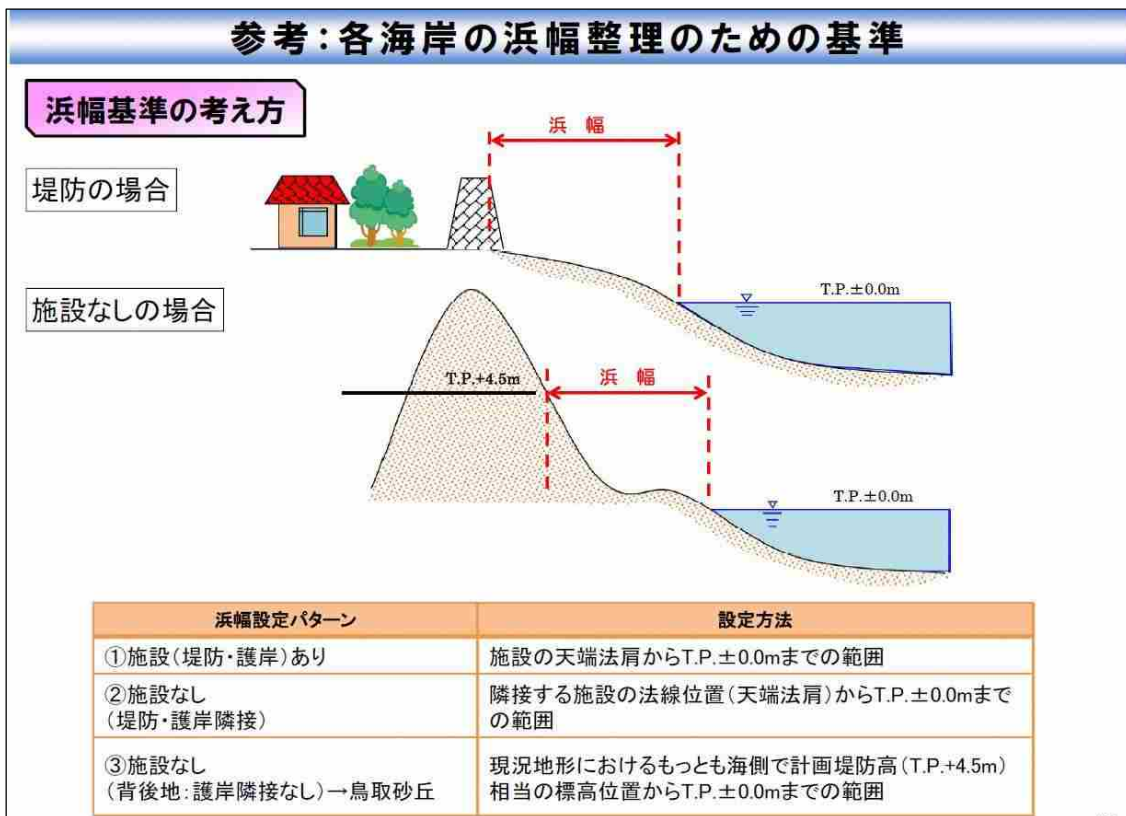


図 1-7 浜幅基準の考え方

図 1-8 は、直近 3 回分の測量データに基づいて算出した浜幅と、利用面（40m）、防護面（25m）の目安となる浜幅を比較したものである。

- 浜幅の沿岸分布は汀線形状の沿岸分布の変化に対応して変動する。
- 浜幅は一次的に防護の目安となる 25m 未満になる区間が生じるものの、全体としては防護機能は確保されていると考えられる。

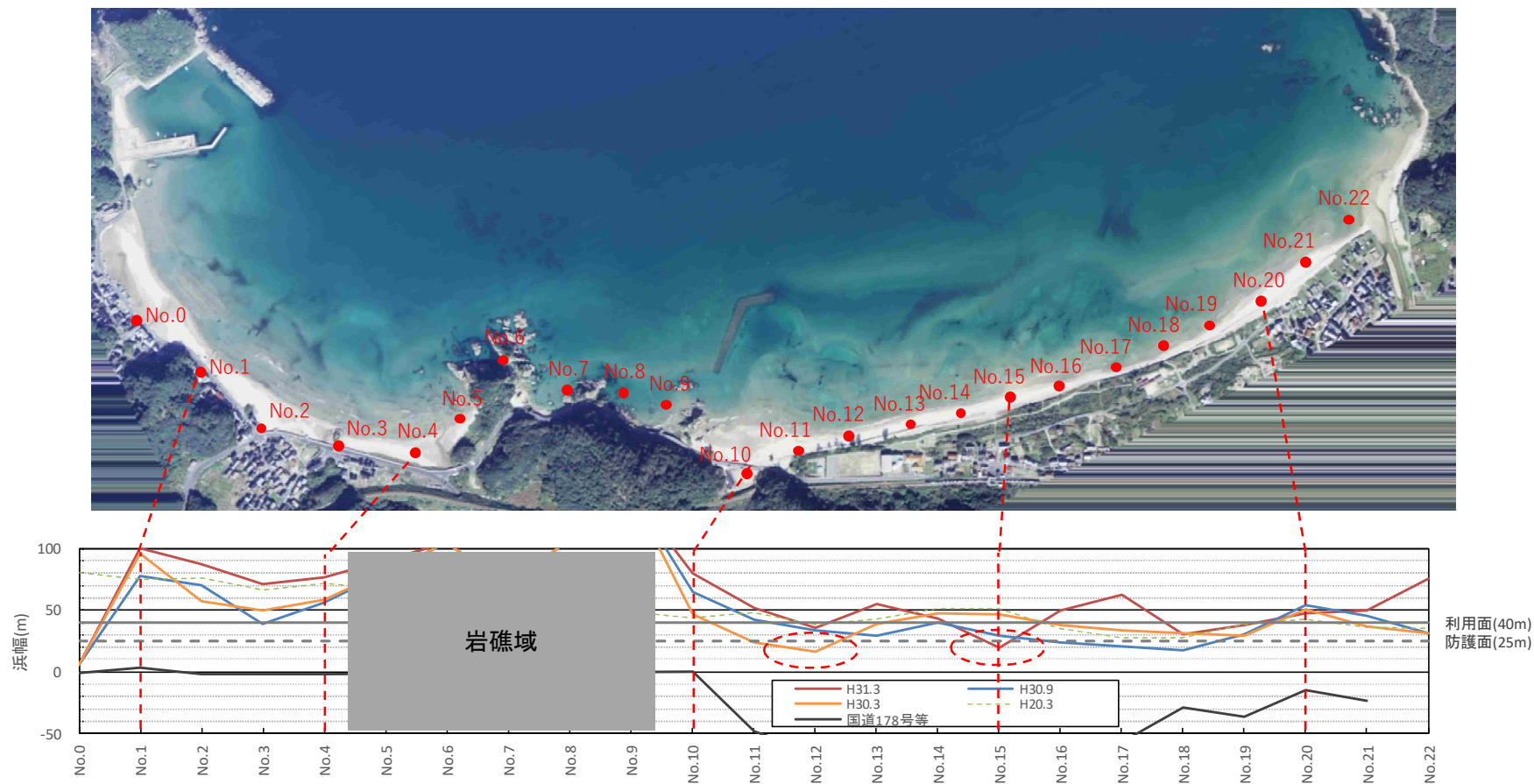


図 1-8 利用面、防護面の目安とする浜幅との比較